【新連載】
結婚式までの体験談①

第１５１号　２０２０年１月２０日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カグヤ　奥山卓矢

新連載 趣旨

今回より新連載として、結婚式までの体験談を綴っていきたいと思います！
ウェディングプランナーさんを通して感じた体験談。そして「見守る」って
何だろう？ これは保育の中でも活かせるのではないか！？と感じたことを
発信していきたいと思っています。

式場決定までに５会場の見学、無料相談窓口での相談１回。
ここで発信する内容は私の見解であり、妻との意見とは異なるところもある
かと思いますが（笑）、そこは体験談として笑って受け取って頂けたらと
思っています！

●入籍までの流れ

2019年５月初旬　プロポーズ
2019年６月初旬　彼女のご両親へご挨拶
2019年７月末　　両家顔合わせ
2019年12月末　 入籍

●結婚式場決定までの流れ

2019年8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月
A会場見学（1施設目） B会場見学（2施設目）				C会場（3施設目） 相談窓口にて相談	D会場（4施設目） E会場（5施設目）

８月：2020年５月に結婚式を挙げられるように動き始める！
式場探しは結婚式準備アプリを使用し、まず夏休み休暇を利用し、
２会場の見学を行いイメージを拡げることが目的。
２会場見学したことで、アプリの見学特典で３万円のＪＣＢカードを
頂きました！

見積比較シートの雛型は、こちらの画像をクリックしてダウンロードしてご活用ください。

某式場で実際に頂いた見積りの一部①

某式場で実際に頂いた見積りの一部②

「見守る」気づきポイント

☑ 見学の際に ipad を活用

式場見学の際にプランナーさんが ipad を持ちながら会場を案内してくださいました。会場を移動するごとに、この会場では、こんなお花を使いました、ドレスはこんな感じです！などイメージが膨らむような形で式を挙げた方の写真を見せてくれました。保育園でも同じように、保育室で遊んでいる子どもたちの写真や、行事の時は保育室がどう変わるなど動画でも見せられ、見学の際に ipad を活用するのは有効かなと思いました！

☑ 見積書の項目を揃え、見比べる！

計 5 施設の式場見学に行ったのですが、打ち合わせの最後に頂くのが見積り書。式場ごとの見積書を見比べると、項目の打ち出し方が異なり、1 枚 1 枚見比べるには正直見にくく感じました。内訳を見比べてみると、「ここの会場は宛名の印刷まで入っているけど、こっちの会場には入っていない！」など、細かなところまで気づけるようになりました。結婚式の情報サイトにも、持ち込み出来るかは会場に聞いた方がいい！とアドバイスが書かれていましたが、初めてみる結婚式の見積書で、どこをどう見ればいいのか？　何が抜けているのか？を見つける方が自分としては至難の業でしたが、5 施設見学したことで見積書の見方が深まり、比較表の作成には手間は掛かりましたが、項目を揃えた状態で見比べた方が自分はいいなと思いました。5 会場目（最後）に行った式場で決定した際には、見積書上に動画の作成（オープニングやエンドロール）の作成費用が含まれていませんでした。見積もり上に書かれていないけど、きっと作成して、上乗せになるだろう金額の資料などをもらえるように依頼できたのは、事前に比較表を作成したお陰だと感じています。

●見積書比較表（3 社分）

※画像をクリックすると見積書が見れます！

料理でのおもてなし！

☑ 専門の人に聞くべし！

3 施設の会場を廻ったところで、無料相談所へ行きました。3 施設目までの主な目的は式のイメージを拡げることでしたので、3 施設を見学した時点では、アプリで式場を見ながらここへ行ってみようか？など楽しく探していましたが、本格的に探そうとなると、無料相談所という方法は有効な方法で、丁寧に話を聞いてくださいました。見学後、変な勧誘なども一切なく、短い期間で情報を得るには得策かと思います。そして、保育においても、何においてもだと思いますが、専門の人に尋ねるというのは最新の情報が得られる方法かと思います。

☑ 見た目では誤魔化せない

無料相談所で候補を頂いた会場（4 施設目）を見学した際の出来事です。とてもきれいで、ここで式を挙げたいな！と私も妻も思ったのですが、ブライダルフェアで滞在した 2.5〜3 時間の間に会場スタッフ 4 名の方と接しました。（お茶を持って来てくださった方を含む）。ただ、その中で自分が細かすぎるだけかもしれませんが、他の会場では感じなかった気になる数々、覚えている範囲で紹介します。

●飲み物に紅茶を頼んだら、受け皿（ソーサー）に紅茶がこぼれている
→若いスタッフで気づかなかったかな？とスタッフが見ていないうちにティッシュでふき取り、なかったことに。

●相談窓口で、式の日取りを大安か友引で希望を伝えていたのですが…
→テーブルの上に、「六曜は迷信です！」という紙が置いてあり、六曜の説明が書かれた文章と、例として、仏滅に生まれた子は一生不幸でしょうか？という文章。そして、説明で対応して下さったプランナーさんは、ご自身が仏滅に式を挙げたらしく、仏滅で式を挙げましたが、今幸せです。仏滅の方が特典が付いてお得です！ということを強調される。

●すでに式場の見学で 3 会場見学していることを伝えると、馬鹿にしたように笑われる（イラッとし、きっと睨みつけていました）
→普通は 1.7 件程で決めている方が多いですよ、見学し過ぎるとどこがいいか分からなくなりますからね。全部一緒に見学されている旦那様は素敵ですね。（鼻で笑っておいて、フォローになっていない！）

●食事の金額について
式当日に参列者の方に提供する食事。価格帯は 3 パターンほどあり、

５施設目の式場では、私たちの名前を使ったメッセージカードを作って頂きました。

挙式を行う式場のイメージ写真

挙式を行う式場のイメージ写真

その説明にて、13,000 円は若い人向けで鴨ロースはないですね。

→（だったらメニューに載せるな！！！！と心の中で叫んでました）

●試食会つきの説明会だったため、食事が提供されるも皿の向きが…

これまで数々気になるところはあったのですが、食事は美味しく、たまたま説明して下さった方が難ありだったのかと思ったのですが、メイン料理が運ばれ、妻とは隣り合って座っていたのですが、何故かお互いのお皿の向きが違う…。説明が始まるもお皿の向きが違うことが気になって説明が入ってこない。（スタッフが変わっても変な対応が続き呆れて何も言葉はもう出ずでした）

→ＨＰで見た写真や実際に会場を訪れてのチャペルは本当にきれいでした。会場の方曰く、式場関連のコンサル経験を活かし、理想の式場作りをしたと話をされていました。確かにきれいでしたが、そうはいっても見た目とは裏腹に、スタッフの対応が…と思うことが多く、当日をこの会場で迎えると思うとスタッフの対応に不安を感じ、そして何より自分自身がここイヤ！と終始感じました。大金を出して、こんな嫌な想いをしないといけないんだ！だったら、式なんかやらなくていいとも思いましたが、年始早々、普段仕事を行う上で自分はそんな風に振舞っていないだろうかと振り返るきっかけにもなりました。どんなに綺麗な会場でも、やはり人という環境が大事！ということを痛感しました。

☑ 決め手はやぱり人！

４会場目の見学後、一時的に式やらなくてもいいかな？と気持ちが揺らぎながら同日の午後に５会場目の見学。やや不貞腐れた態度で会場に到着し、午前中の会場での出来事をそのまま伝える。そうすると、その対応して下さったプランナーさんから、「同じプランナーとして、嫌な思いをさせてしまったとしたら、大変申し訳なく思います。この会場を出られる際に、少しでも楽しで帰ってもらえたら嬉しいです」と、同じ会場のスタッフかどうかではなく、誠意をもって関わって下さったことに心が和みました。思い出の場所やどんな音楽が好きかなど事前の質問に答え、会場見学が始まると、大型スクリーンにはイメージ写真ですがと、ゲストの方が通る入口の所にその写真を張り出して、当日をイメージさせてくれたり、チャペルに入る際には、サビの部分で扉を開けて模擬体験をさせて頂いたり、午前中の式場とはまるで違う、手作り感満載な所にも惹かれ、どういう人に頼みたいかと思えば、やはりそういう人の気持ちを理解して下さる方にお願いしたいなと、心動かされていました。

期限が決められた宿題ノート

特典から考えさせられること

期間内に３つの式場を見学にすると〇万円分の商品券や電子マネーギフトプレゼント、式場見学にはほぼ付いている試食会。参列者が受け取るカタログギフトを頂く等、５会場を廻ったこともあり、たくさんの特典を頂きました。決して、特典目当てに会場見学をしていたわけではありませんが、人にまず来てもらうためには、他の式場も様々な特典を付けているからということもあるのでしょうが、保育園においても人材不足が叫ばれる問題もあり、似たような構造を感じます。式でのサービスではなく、結婚とはどういうことかを考えさせる式場ということも必要であり、結婚式までのプロセスで何を学んでいくかが大切だと感じます。

式場が決まり、大量の宿題。ただ、その前にするべきこと

式場が決まり、今後の打ち合わせのため式場へ行くと結婚式までの段取りと大量の宿題を手渡されました。参加者からはじまり、引出物、料理のメニュー、挨拶などやることなど２時間以上に渡る説明を受け、ぐったり。妻からは、やる気がないと見なされたらしく、ただそうではないことも説明しつつ、結婚式でよく聞くケンカも起こりそうだねと妻から言われ、立ち止まって考えてみると、確かに式の日にちが決まったら、そこに向けて準備をしていかないといけないのは事実。ただ、一生に一度の結婚式。この準備のプロセスも楽しもうと思ったら、やることの前に話し合わないといけないのは、どんな式にしたいかということ。宿題の多さに意識が持って行かれていましたが、どんなプロジェクトでも、やることの前に目的の確認をして、どんな風にしたいかを話し合ってから役割が分かれるもの。同じように、宿題の期日を守る前に大切なのはどんな式にしたいか、参列して頂いた方にどんなことを感じてもらいたいかということ。
宿題から入っていったら絶対にケンカは避けられない、そんなことを感じました。(続く)

●過去のバックナンバー

第１４８号

年末のご挨拶

第１４９号

行事の意義を考える__お正月

第１５０号

行事の意義を考える__総集編

http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/

caguya

〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11　新宿三井ビルディング２号館 10 階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ　奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン

メールマガジンのご登録は、
ＱＲコードからお願いします。